

# News Letter

山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構

■ 第30号 ■

2009年6月10日

## CONTENTS

- シーズ・ニーズのマッチング会開催案内～「やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議」コーディネータ連絡会議～ ..... 1
- 平成20年度 共同・受託研究の実績報告 ..... 2
- 特許情報検索講習会を開催 ..... 3
- 講演会の案内 ..... 3
- 平成21年度 客員教授の紹介とセミナーの案内 ..... 4
- 平成21年度卒論テーマ募集 マッチング結果 ..... 5
- 新スタッフの紹介 ..... 5

発行 産学公連携・イノベーション推進機構  
 連絡先 〒755-8611  
 宇部市常盤台2丁目16-1  
 電話 0836-85-9961 F A X 0836-85-9962  
 e-mail yuic@yamaguchi-u.ac.jp  
 U R L http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/

## シーズ・ニーズのマッチング会開催案内 ～「やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議」コーディネータ連絡会議～

「やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議」コーディネータ連絡会議では、平成21年度の事業として、県内4カ所でマッチング会を開催いたします。

マッチング会の目的は、山口県を中心とした地域の研究者と企業がどのようなことに取り組んでいるかを紹介し、共同研究・開発のパートナーの情報を交換しようというものです。

マッチング会では、毎回技術テーマを決めて、それに関連する研究者と企業の方にテーマに沿ったお話をして頂きます。

日程	会場	技術テーマ	協力機関
7月30(木)	宇部市 常盤工業会	医療・福祉・機能性食品	山口大学
8月28日(金)	下関市 水産大学校	食品加工	水産大学校
9月17日(木)	山口市 未定	工業デザイン	県立大学
10月中旬	岩国市 未定	機械・電気・電子・メカトロ	徳山高専・ 大島商船高専

詳細につきましては、ホームページ、メルマガ等を通じて、順次ご連絡いたします。多くの企業の方に参加していただきたいと思っております。また、「是非テーマに沿った発表をしたい。自社の技術を売り込みたい。」といった申し込みも受け付けております。

なお、マッチング会への参加は準備の都合が利ますので事前に登録をお願いする予定です。参加は無料ですが、懇親会に参加いただく場合は別途参加費をいただきます。

本マッチング会に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

お問い合わせ先: コーディネータ連絡会議事務局

国立大学法人山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構

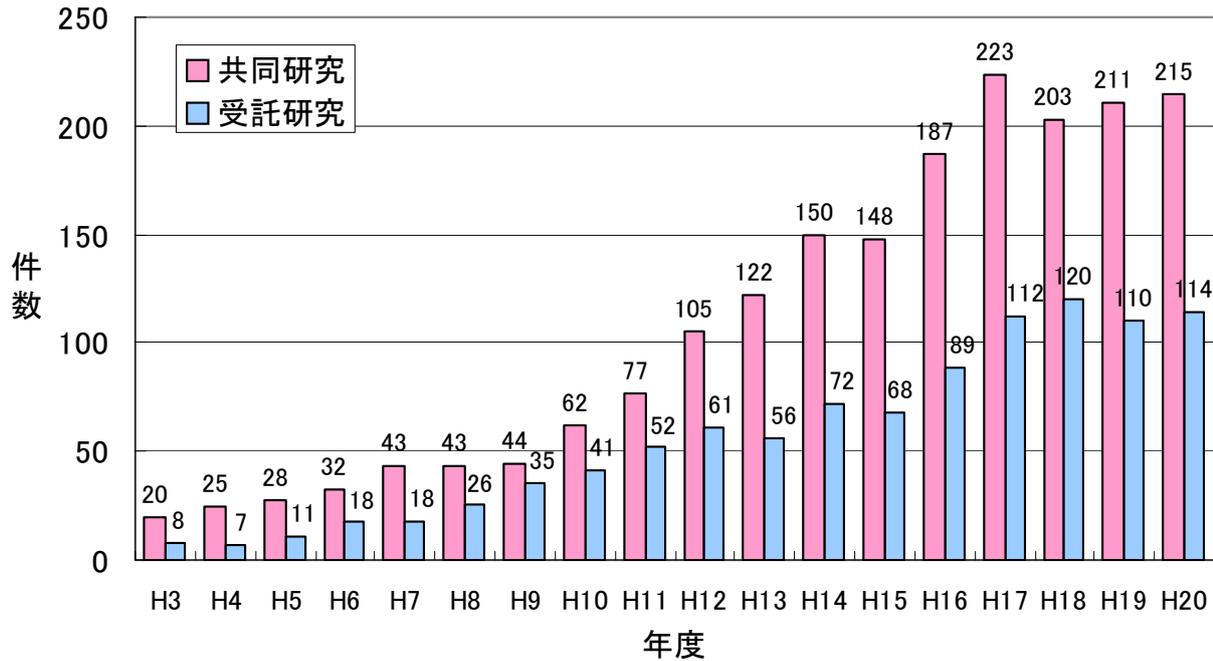
電話: 0836-85-9961 E-mail: [sh052@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:sh052@yamaguchi-u.ac.jp)

担当者: 杉浦、近藤

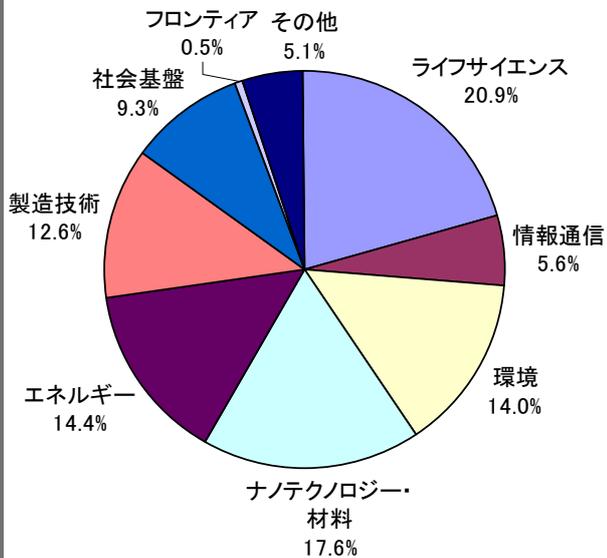
## 平成20年度 共同・受託研究の実績報告

平成20年度の共同研究と受託研究の実績をお知らせします。  
共同研究215件、受託研究は114件になり、昨年度と比較すると、ともに微増となりました。

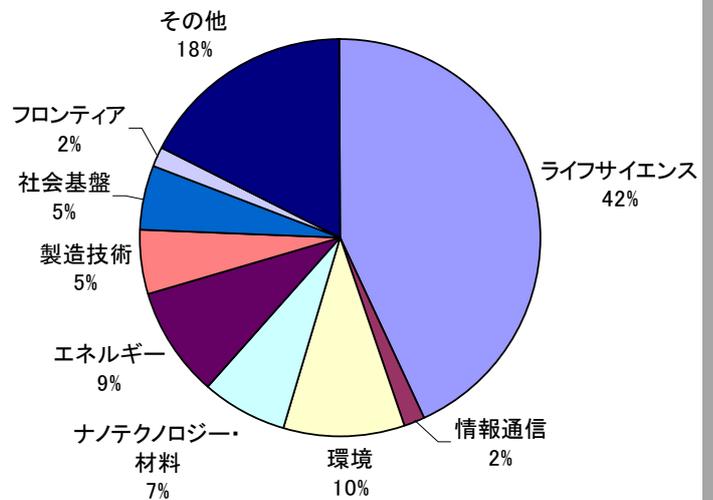
共同研究・受託研究件数推移(H20年度)



共同研究分野別割合(H20年度)



受託研究分野別割合(H20年度)



## 特許情報検索講習会を開催

知的財産部門の主催で、「特許情報検索講習会」が、5月13日、20日、27日の3日間にわたり常盤キャンパスで開催されました。宇部興産(株)知的財産部の岡本和彦氏を講師に迎え、特許基礎知識、特許情報検索についての講義と、山口大学特許検索システム(YUPASS)、特許電子図書館(IPDL)、JST文献検索サービス(JDream II)の検索ツールを使っての特許情報検索実習が行われました。

本講習会は、平成16年度から引き続いて開講していますが、「特許情報検索インストラクター養成」のための講座も兼ねたものであり、講習会では、多くの実習を交えて丁寧にわかりやすく説明され、42名の教職員、学生は熱心に受講しました。本講習会のアンケート結果によれば、今回の講習会は、初心者にとってわかりやすい内容で非常に有意義な講習会であったと好評でありました。なお、本講習会は、6月25日、7月2日、9日には、吉田キャンパスでも開催する予定です。

特許インストラクター制度は、平成16年度から実施しており、文部科学省や他大学等からも高い評価を受けているところですが、特許インストラクター制度の効果は、学生インストラクターの実践的な知的財産活動の参画により、知財教育を重視する企業等への就職活動に期待されるとともに、大学においても、①特許出願関連資料・データの整理等業務に対する学生インストラクター支援により、大学教員の業務負担の軽減、②出願時の弁理士費用低廉化による法人運営費の大幅な節減にもつながるものです。

今後、就職活動や大学運営のためにも本制度を大いに活用いただきたいと思います。



佐田知財部門長の挨拶



岡本講師による講習

## 講演会の案内

### ■「バイオリファイナリー研究会」

世界の工業用酵素のトップメーカーであるノボザイムズの技術者から第2世代バイオエタノール生産に関する講演(英語で発表)と、耐熱性酵母によるエタノール生産についての講演を聴講した後、議論をして現状についての理解を深めます。

日 時:平成21年6月15日(月) 16:30~17:40

会 場:山口大学常盤キャンパス D講義棟 D11教室

内 容: 講演1 「第2世代バイオエタノール生産に向けた酵素糖化技術の現状と展望」

L.Lessard ノボザイムズ

講演2 「耐熱性酵母によるバイオエタノール生産」

赤田倫治 山口大学工学部

申込先:無料ですが配布資料の印刷のため、事前に氏名・所属・電話を記載のうえ、e-mailで参加申し込みをお願いします。

山口大学工学部 山本修一 E-mail:bs@yamaguchi-u.ac.jp

詳細→ <http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/information/event.php?id=E2009060509585306>

## 平成21年度 客員教授の紹介とセミナーの案内

当機構では、今年度も山口大学と民間企業等との共同研究の推進等を目的として民間機関等から客員教授を迎え、「特別講演会」や「セミナー」等を開催致します。

なお、講演会の案内は機構発行のメールマガジンやホームページでも随時お知らせします。

氏名	現職	専門分野
奥山 茂	大正製薬(株) 安全性・動態研究所長	創薬
原田 博	ライト工業株式会社 国際事業部顧問	法面对策のグラウンドアンカー工の メンテナンスおよび国際協力
松本 理	前 長門農林事務所長	農業生産学
大石 博之	西日本技術開発株式会社	土砂災害の発生危険度評価
柏柳 正之	電源開発株式会社	エネルギー、ダム工学、発電水力、 海外プロジェクト
松田 益義	株式会社MTS雪氷研究所 代表取締役	雪氷学、環境科学
植田 清隆	電力中央研究所 名誉研究顧問	電力系統の計画と運用、 省エネルギー電力機器
淵野 修一郎	(独)産業技術総合研究所 主任研究員	低温工学、 超電導電力応用
羽根 拓也	株式会社アクティブラーニング 代表取締役社長	ベンチャー・ビジネス
横林 寛昉	株式会社YBI 社長	ベンチャー・ビジネス
辻本 一義	辻本法律特許事務所 弁理士	知的財産権
辻本 希世士	辻本法律特許事務所 弁護士、弁理士	知的財産権
櫻木 史郎	ユニオンマテリアル株式会社 代表取締役社長	整形結晶化技術
奥 登志生	前 山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構 知的財産部門 ディレクタ	知的財産権

(H21.4.1付採用者)

客員教授による下記先端技術セミナーを開催します。ふるって、ご参加ください。

### ■先端技術セミナー「斜面災害リスクの評価と管理に向けて」

参加費無料

日時:平成21年7月9日(木) 15:00~17:00

会場:山口大学常盤キャンパス E講義棟 E21講義室

講師:大石博之 山口大学客員教授

(西日本技術開発株式会社 調査解析部 防災情報グループ 課長)

お問い合わせ・申し込み先:山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構

TEL:0836-85-9961 FAX:0836-85-9962

E-Mail:yuic@yamaguchi-u.ac.jp

詳細→ <http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/information/event.php?id=E2009060314540761>

## 平成21年度卒論テーマ募集 マッチング結果



本年1月に募集した平成21年度卒論テーマ募集には、企業や地方自治体から14件のテーマを応募いただきました。これらのテーマについて山口大学教員とのマッチングを進めた結果、9件が卒論テーマとして実施されることになりました。現在、各教員の研究室に所属する4年生が卒業研究として研究に取り組んでいます。これらの中には、大学の社会貢献活動の1つとして教員自身が直接実施しているものもあります。担当する4年生にとっては、企業の視点に立った研究に取り組むことでより実践的な能力を養う機会にもなると期待しています。残念ながら今回はマッチングに至らなかった企業の方や応募されなかった企業の方も含め、今後もこの制度を活用していただきたいと考えております。

なお、機構ではこれらのテーマから産学協同によるイノベーション創出の芽が出てくることを期待し、山口大学教育研究後援財団の産学連携促進事業として実施テーマの研究経費の一部を支援する予定にしています。

## 新スタッフのご紹介

平成21年4月1日付けで、経済産業省中国経済産業局から着任いたしました。私自身では岡山市役所への出向に次ぐ2度目の単身赴任となりました。広島県廿日市市宮島町で世界文化遺産である厳島神社の大鳥居を眺め、「もみじまんじゅう」食べて育ちました。中国経済産業局では、参事官(循環・環境クラスター担当)として、循環・環境型社会形成プロジェクトに取り組んでまいりました。企業等のニーズに基づき、地方自治体、支援機関、大学等の関係機関と連携し、ネットワークの強化・活用によるシーズ発掘から技術開発、事業化に至るまで、一貫した支援を行ってきました。

山口大学におきましては、今までの経験を生かしながら、企業や関係機関の方々と顔の見える関係をつくり、機構のスタッフとともに力を合わせ、地域の活性化に向けて熱き心で取り組む決意ですので、よろしくお願いいたします。

松本 正

Tadashi MATSUMOTO



専門分野: 経済産業省関連の  
行政事務

4月1日付で、宇部市から出向で参りました古谷と申します。

3月まで、経済部工業振興課に所属し、産学連携、産業振興を担当させてもらっておりましたので、これまでも山口大学の先生方には大変お世話になっておりましたが、更に4月からは体も大学ということで、心身ともに、これまで以上にいろいろとお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

心機一転、より広い視野で、山口大学との連携による地域企業の成長支援、産業振興、地域づくり、地域活性化に、微力ではありますが全力で取り組んでまいりますので、御指導の程よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年10月、山口大学と財団法人横浜企業経営支援財団は、国立大学初となる産学連携協定を締結されたところであります。

今、これをいかに活かすか、地域産業の振興に向けてどう展開するか、いろいろと思案し、夢を膨らませております。

古谷 榮識

Shigeshi FURUYA



今年度4月から山口大学産学公連携・イノベーション推進機構でイノベーション創出促進研究員(産学連携コーディネータ兼務)として、勤務することになりました。よろしくお願ひ致します。これまでは、NEDOフェローとして山口TLOにて、大学のシーズを実用化する上で必要な、技術分析、知財化支援、技術のマーケティング、契約交渉、起業化支援まで幅広い実務に携わっておりました。これらの経験を活かして、山口大学では本学教員の研究成果に基づいた実用化プランの立案を行い、産学プロジェクト形成支援、競争的資金獲得支援、知財戦略の助言等をさせていただきます。

イノベーション＝革新的技術とのイメージがありますが、イノベーションとは全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすことです。例えば、スーパーのレジ打ちがバーコードに変わったことや、パソコンのマウスの検出がボール式から光学式に置き換わったことも、小さいかもしれませんがイノベーションと呼べるかもしれません。大学は革新的なもの以外にも、新しい技術やアイデアを多数創出していると思います。社会的なニーズを多面的に捉えて、大学の研究成果である新しい技術やアイデアの活用を検討することで、イノベーションにつなげることができればと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。

井本 良  
Ryo INOMOTO



専門分野: 電気電子工学、  
半導体工学、  
技術移転

はじめまして、「田口 岳志」と申します。本年4月1日より、「イノベーション人材育成支援室」で産学連携コーディネータとして活動させて頂いています。私はこれまで、土木コンサルタント会社で5年間ほど設計、調査に携わってきました。また、業務と平行して母校の山口大学大学院 博士後期過程に通わせて頂き、博士の学位を授与されました。その後、佐賀大学低平地研究センターにて有明海沿岸道路建設プロジェクトにおける「環境と建設」に関する基礎研究を進めてまいりました。本年より、研究者からそれを支援する立場となりましたので、まさに“かゆいところに手が届く”コーディネータになろうと考えています。

私の専門とする土木分野は、国民にとってダークなイメージ(公共工事＝悪・汚・怪etc)が強く、設計・施工などの仕事を“まじめ”にしている大部分の人たちまで神経をすり減らしているのが現状です。しかしながら、我が国の礎となる社会資本整備は今なお不十分であり、地球温暖化・エネルギー資源の枯渇などに対する備えは、より一層必要に迫られているといえます。そのためには学術機関と企業および公的機関のコラボレーションによる効率的な技術開発が非常に重要となります。今後は、自分の経験した民間と学術の視点を融合して、より良い社会貢献の推進を目指したいと思います。

田口 岳志  
Takeshi TAGUCHI



専門分野: 土木工学

## 山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構 Innovation Center, Yamaguchi University

連絡先: 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1

発行: 山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構 TEL:0836-85-9961 FAX:0836-85-9962

E-mail: yuic@yamaguchi-u.ac.jp ホームページ: <http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/>